

あとがき

本誌は、「令和4年度 つくば市児童生徒科学研究作品展」(つくば市展)に出品された小学校196点(延べ310人)、中学校93点(延べ165人)の作品のうち、“金賞”を受賞した作品33点の概要をまとめたものです。

本年度のつくば市科学作品展は、昨年度の出展数とほぼ同じ280点を超える出品数を数えることができました。内容を見ると、身近な事象に「なぜだろう」と素朴な疑問をもったり、社会的な課題や自分が感じている不便さを解決するために取り組んだりするなど、科学に向かう視点の広がりがありました。また、これまでの研究で新たに生じた課題を解決するなかでより深まった研究になるなど、自然科学に真摯に向き合い疑問を解決していく頼もしい児童・生徒の姿をうかがうことができました。

また、本年度はコロナ禍で中止が続いていた公開開催を、3年ぶりに「市民ホールつくばね」にて二日間にわたって行うことができました。来館者は一日150名程度であり、2日間で300名を超える人数が来館しました。つくば市科学作品展に対する高い関心の表れでした。

さて、本誌に掲載された作品は「茨城県児童生徒科学研究作品展 県南地区展」に出品され、そのうち小学校9点、中学校15点が「茨城県児童生徒科学研究作品展」(県展)に出品されました。そして、県展では、山本泰理さん(並木小学校)の「未来ののりもの研究 part2 -カーブチューブの中を表面効果で飛ぶ飛行機-」、八田暁美さん(竹園東中学校)の「カイクパート6 飛べ!カイク!Ⅲ ~カイクの飛翔能力消失の謎に迫る!~」が茨城県知事賞を受賞するなど、小学校4点、中学校13点が入賞することができました。多くの児童・生徒が科学研究に取り組み、確実な成果を収めることができましたのも、本市の理科教育推進に関わる多くの方々の指導の賜であると確信しており、感謝申し上げます。今後も、理科好きや科学的な見方のできる児童生徒の育成に、なお一層のご支援をいただきたく、併せてお願い申し上げます。

今年の34号からは、ネット環境の充実に伴い、つくば市教育委員会のHP上のみで掲載することになりました。今後の学習等にも検索しやすく参考にしやすくするように工夫を重ねてまいります。今後とも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

つくば市教育研究会理科研究部長 鈴木 はるみ

監修者	つくば市教育委員会	学び推進課	指導主事	市原 猛
編集委員	委員長	並木小学校	校長	鈴木 はるみ
	副委員長	みどりの学園義務教育学校	副校長	三輪 俊一
	編集委員	谷田部小学校		中川 裕喜
		二の宮小学校		片山 大輝
		並木小学校		室町 直樹
		荃崎第一小学校		大塚 陽介
		大穂中学校		安田 匡宏
		竹園東中学校		栗原 公子
		谷田部中学校		倉持 健
		谷田部東中学校		田中 素乃子
		春日学園義務教育学校		永野 美涼
		学園の森義務教育学校		栃堀 亮
		並木中等教育学校		五十嵐 瑞貴
協力		つくば市教育研究会		理科教育研究部